

## 高知市漁業振興審議会 第2回会議【議事概要】

- 1 日 時：令和4年11月21日（月）15時から17時
- 2 場 所：高知市役所たかじょう庁舎3階 会議室
- 3 出席者：【委員】森岡会長，澳本副会長，前田委員，野本委員，山本委員，久保委員，  
竹内委員，山地委員，織田委員，津野委員  
【高知市】高知市農林水産部 宮地副部長  
（事務局）農林水産課 島崎課長，岡内係長，大黒主事

### 4 議事概要

#### (1) 第1回会議の意見を踏まえた計画案の検討について（説明：事務局）

##### 【委員】

前回会議において，高知市総合計画で設定している漁獲高の目標値を既に達成しているという意見があったが，第10次計画において，新たな目標値を設定する必要はないか。

##### →【事務局】

総合計画の成果指標は，後期基本計画の最終年度である令和12年度時点において達成しておきたい目標値である。第10次計画は後期基本計画の計画期間内であり，この数値を超える新たな目標値を設定する必要はない。

##### 【委員】

春野漁港施設機能強化事業の完了後（令和6年度以降）の事業予定は。

##### →【事務局】

埋没メカニズムの調査結果等に基づく，漂砂対策の検討を予定している。

##### 【委員】

ヒラメ種苗放流の効果は出ているか。

##### →【委員】

浦戸湾内での刺網漁業には効果があるが，湾外での小型底曳網漁業には効果がない。

##### →【委員】

刺網漁業ではヒラメの水揚げ漁獲もあり，漁業者からは放流事業に対する強いニーズがある。

##### →【委員】

以前の各漁業指導所の調査では，水揚げされるヒラメの3割が放流されたものだろうと言われていたが，近年のヒラメ漁師や漁獲量の減少のため，正確な数値の把握ができず，詳細な放流効果の測定が困難となっている状況。

##### →【委員】

種苗放流事業は効果測定が難しく，課題はあるものの，漁業者からのニーズはあるため，事業は継続しつつ，漁業指導所等との連携による，効率的な放流方法の検討をお願いする。

**【委員】**

漁業基盤整備に関して、御昼瀬の上架施設の老朽化が著しいため、改修に係る支援をお願いしたい。

→ **【事務局】**

令和6年度予算要求に向け、事業内容や事業費について検討のうえ、ご連絡いただきたい。

→ **【委員】**

施設はどこも老朽化している。施設集約化の検討も必要である。

**【委員】**

担い手育成の目標値について、新規漁業就業者数が年1名であるが、目標の設定として低いのではないか。

→ **【事務局】**

最低限の目標として1名としているところではあるが、今後の取組として、漁業改良協議会において、高知市の漁業の魅力をPRできるようなパンフレットや、動画作成の検討を行うこととしている。

→ **【委員】**

都市機能が集中している高知市で漁業ができるのも魅力の一つ。目標の達成に向け、漁業就業支援センターとも連携し、漁業就業フェア等でPRできれば良いと考える。

**【委員】**

前回意見があった、燃油高騰対策に関してまだ具体的な記載がないが、検討していくという認識で良いか。

→ **【事務局】**

漁協とも協議しつつ、効果的な事業内容を検討したい。

**【委員】**

県の「あゆ王国高知振興ビジョン」と連携した取組の記載を検討してはどうか。

**【委員】**

「あゆ王国高知振興ビジョン」は、高知のあゆに触れる機会づくりや、外貨を獲得する仕組みづくり、持続的に活用するための仕組みづくり等をビジョンの柱としており、具体的な事業として、鏡川漁協によるあゆの産卵場の造成や、高知市の「まちのコイン」の取組を位置づけている。

第10次計画へ記載するとすれば、「遊漁者の増加による鏡川漁協の収入増加」等になるのでは。

→ **【事務局】**

委員の意見も踏まえて、計画への記載を検討したい。記載内容については、水産業振興課にも相談させていただく。

**【委員】**

浦戸湾で獲れる、エガニやヒラメをもっとPRすることにより、高知市の漁業をもっとアピールできるのではないかと。

一方で、浦戸湾ではアカメが増えすぎており、放流した種苗を捕食するなど、漁業被害も発生している。アカメを注目種として保護するのであれば、被害を受ける漁業者にも支援をいただきたい。

**【委員】**

アカメを狙う遊漁者とのトラブルも増えている。ルアーが刺網に引っ掛かり、刺網を無理に引き上げたり、傷めたり事例も発生している。

**【委員】**

第9次計画には、水産業の多角的展開として、遊漁者との交流による交流人口の拡大や、漁村の活性化の促進について登載していた。そういった内容についても、追加できる場所があれば、検討してみても良いのでは。

(2) 今後の策定スケジュールについて（説明：事務局）※質疑・意見なし